

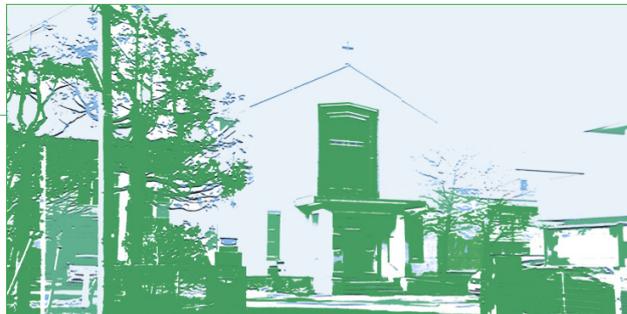


# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1

ミサの時間：月曜日-土曜日 6:20am (「朝の祈り」に続いて)  
日曜日 7:00am、8:30am、9:30am



## 子どもが大好きアントニオ

小西 広志 神父

Q：どうして、瀬田の修道院の入口にいる聖アントニオは赤ちゃんを抱いているの？

A：聖アントニオはパドヴァの聖アントニオと呼ばれる聖人です。今から八百年くらい前に活躍した聖人です。今でも世界中の人が聖アントニオが大好きです。たくさんの人が聖アントニオにお祈りします。なぜなら、聖アントニオは人々の小さなお祈りによく耳を傾けてくれると信じられているからです。

世界中で愛されている聖アントニオですが、そのご像は多くの場合、小さな赤ちゃんを抱っこしています。聖アントニオはベトレヘムでお生まれになった幼子イエスさまがとても好きだったからです。

Q：そっか、抱っこしている赤ち

ゃんはイエスさまなんだ！なぜ、聖アントニオは幼子イエスさまが好きだったの？

A：神さまがわたしたちの住む世界に大切なご自分のひとり子を送ってくださった、そのおかげで人間が神さまと仲直りできました。この世に来られたひとり子は、もちろんイエスさまです。聖アントニオは小さな子どもたちを見ると、いつも幼子イエスさまを思い出していました。子どもたちの中に幼子イエスさまを見つけていました。

Q：じゃ、聖アントニオは小さな子どもたちのことも好きだったの？

A：そうです。聖アントニオは、神さまのことをたくさん勉強したし、聖書のこともよく知っていて、すばらしいお話もたくさんしました。聖アントニオが語ることを聞いて、人々は神さまのやさしさを知るようになったのです。でも、聖アントニオはそれだけではありませんでした。というのも、貧しい人や苦しむ人を積極的に助けたからです。特に子どもを育てるために苦労しているお母さんたちを助けました。

Q：どうやって助けたの？

A：その頃は、女の人には社会の中で大切にされていませんでした。特に貧しい女の人、子どものいる女の人にはとても生活が大変でした。毎日食べるためのパンを手に入れることもできなかったのです。聖アントニオはそんな弱い立場の人たちをかくまって、助けてあげました。女の人たちを連れ帰って無理やり働かそうとする悪い男たちと闘って、守ってあげたのです。また、パンの無い子どもたちにはパンを配ってあげました。

Q：子どもが好きな聖アントニオは、今の子どもたちを見てどう思うんだろう？

A：そうだね。どんなふうに思うだろうね？世界中にパドヴァの聖アントニオの名前をもらった教会がたくさんあります。瀬田教会もそうです。聖アントニオの名前をもらった教会にはたくさんの人がいつもお祈りに来ます。聖アントニオは「失せ物」の聖人と呼ばれていますから、たくさんの人が聖アントニオにお祈りするので。

Q：「失せ物」の聖人？

A：物を無くすことを「失せ物」と言います。そして、「無くした物が戻りますように」、「聖アントニオ、無くした物を見つけることができるようにしてください」とお祈りすると、必ず見つかるようになります。イタリアのヴェネチアの近くにパドヴァという町があって、そこに聖アントニオのお墓がありますけど、お墓の周りにはたくさんの方の祈りが付いています。また、聖アントニオに祈ったおかげで見つけたことへの感謝の手紙もたくさんあります。

Q：みんなが聖アントニオに祈るんだ。

A：そう。祈りだけではなく。子どもが大好きだった聖アントニオですから、聖アントニオの名前をもらった教会には、自然と子どもたちが集まってきます。子どもたちのための楽しいプログラムや教会学校をしています。

Q：瀬田教会と同じだね。

A：毎年、六月十三日は聖アントニオのお祝い日ですけど、ローマの聖アントニオ教会では子どもたちのための特別な祝福とゲームがあります。たくさんのお子さんが教会に来て、神父さんから祝福をもらって、くじ引きをして、おもちゃなどの景品をもらって帰ります。

Q：他には？聖アントニオにちなんだ楽しいことはないの？

A：聖アントニオのお祝い日には特別な歌を歌います。それは『スイ・クエリス』という短いラテン語の歌ですが、たくさんの作曲家がきれいな合唱曲に編曲しました（YouTubeで“Si Quaeris”と検索してみてくださいね）。また、日本ではあまり知られていませんが世界的には有名な合唱団がイタリアのボローニャにあります。それは、聖アントニオの名前をもらった児童合唱団です。とても上手でかわいいです（YouTubeでIl piccolo Coro dell' Antoniano と検索してみてくださいね）。

神父さんは、瀬田教会はやっぱり聖アントニオの名前をもらった教会だと思ってます。聖アントニオはお勉強やお祈りばかりだけではなく、子どもたちや貧しい人のために思いやりのあった聖人でした。そして、今も聖アントニオはみんなから愛されています。たくさんの方が瀬田教会の聖堂に来てお祈りをし、また子どもたちが教会で遊ぶのを見て、瀬田教会にも聖アントニオの「こころ」が生きているんだと思うのです。

(土曜学校「きょうだい新聞」より)